

キッチンボート事業導入に向けた適地選定に関する調査研究  
 東京都の都市河川・運河を対象として

Research and Study on Selection of Suitable Place for Kitchen Boat Business Introduction  
 Target on Urban Rivers and Canals in Tokyo

○漆山雄大<sup>1</sup>, ○菅原遼<sup>2</sup>, 畔柳昭雄<sup>2</sup>

\*Takehiro Urushiyama<sup>1</sup>, Ryo Sugahara<sup>2</sup>, Akio Kuroyanagi<sup>2</sup>

**Abstract:** In order to introduce the kitchen boat business, the purpose is to select a dock that can serve as a sales base after organizing the location characteristics around the dock and the rights of the dock. As a result, of the 99 docks that have been developed in urban rivers and canals in the Tokyo metropolitan area, there were 14 docks that had potential during the kitchen boat business.

1. はじめに

近年、都市生活者の身近な水辺環境への関心の高まりに伴い、都市河川・運河を活用した飲食店舗設置や船着場を活用した観光船運航等の多様な水辺の賑わい創出事業が展開されてきている。こうした動向を踏まえ、筆者らは、河川・運河沿いに船舶を係留し、飲食物の調理・販売提供を行う「キッチンボート」事業の導入可能性を検討しており、係留水面および施設や背後地域の特性を考慮した事業場所の適地選定や都市河川・運河における事業要件の整理を進めている。

そこで本稿では、都市水面におけるキッチンボート事業の導入に向けて、東京都の都市河川・運河の船着場の抽出・整理や立地特性、その管理形態を整理した上で、キッチンボートの事業適地としてなり得る船着場を検討することを目的とする。

2. 調査概要

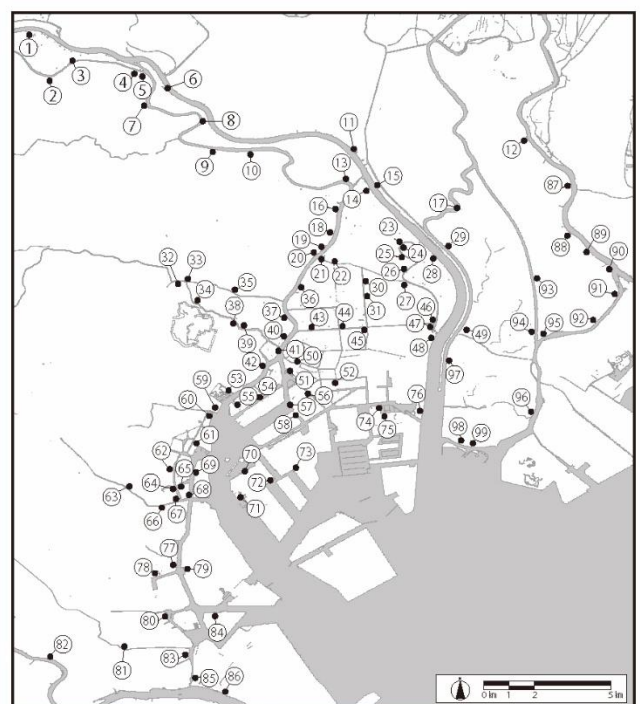
調査は、東京都の都市河川・運河における船着場整備に関する各種資料<sup>[1~3]</sup>に基づき、船着場の所在を整理した。次いで、抽出した船着場の水域・陸域の空間構成や背後地域の特性、船着場の設置・管理者を把握した上で、事業拠点の適地選定を行った。

3. 調査結果

3-1. 船着場の分布状況とその特徴

Table 1 に船着場の分布状況を示す。東京都の都市河川・運河における船着場は全 99 ヶ所抽出でき、河川区域内に 74 ヶ所、港湾区域内に 25 ヶ所確認できた。また、船着場の施設形態は浮棧橋形式と荷揚げ場形式に大別できた。浮棧橋形式は、潮位の干満に応じて棧橋が上下方向に対応するため水面から一定の高さを保持でき、利用者の船舶への乗降に適しているといえる。

Table1. Distribution status of the docks



1 板橋	26 立花六丁目	51 越中島	76 新砂
2 小豆沢	27 平井橋	52 本場六丁目	77 大井親馬場
3 北赤羽	28 亀戸中央公園	53 浜離宮	78 しながわ水族館
4 岩淵 (国)	29 西新小岩	54 朝潮運河	79 大井ふ頭中央緑地公園
5 岩淵 (区)	30 天神橋	55 月島ふ頭	80 大成ふるさと浜辺公園
6 新田	31 亀戸	56 豊洲三丁目	81 夫婦橋
7 神谷	32 新三崎橋	57 豊洲 (ららぽーと)	82 多摩川二丁目
8 豊島	33 市兵衛河岸	58 豊洲ぐるり公園	83 東横谷六丁目
9 荒川遊園	34 千代田区役所前	59 竹芝	84 東京都海運水産物流センター
10 東尾久	35 和泉橋	60 日の出	85 羽田空港天空橋
11 足立	36 兩國	61 芝浦アイランド	86 羽田空港
12 柴又	37 浜町	62 品川	87 小岩葛葉園
13 千住	38 増盛橋	63 五反田	88 篠崎公園
14 墨田	39 日本橋	64 品川天王洲	89 上総橋
15 堀切	40 箱崎町	65 天王洲ピア	90 ボニーランド
16 白鰐西	41 新川	66 東海橋	91 スポーツランド
17 東立石	42 羽石町・聖路加ガーデン	67 天王洲ヤマツピア	92 東横橋
18 桜橋	43 高橋	68 果島川清掃作業所	93 一之江橋
19 二天門	44 扇橋開門	69 勝島一丁目	94 新今井橋
20 浅草	45 小名木川クローバー前	70 お台場海浜公園	95 今井交差公園
21 吾妻橋	46 旧中川・川の駅	71 青海 (船の科学館)	96 なぎさ公園
22 おしなり公園	47 番所橋	72 パレットタウン	97 西葛西
23 東墨田二丁目	48 小松川	73 有明	98 葛西臨海公園
24 平井大橋	49 船堀	74 夢の島	99 葛西臨海公園
25 忘れあい橋	50 黒船橋	75 夢の島マリーナ	

1 : 日大理工・学部・海建

2 : 日大理工・教員・海建

Table2. A dock with the potential to expand the business of kitchen boats

No.	名称	区域		設置水域	設置者			管理者			立地特性								
		河川	港湾		都	区	民間	都	区	民間	背後地の空間特性			背後地のオープンスペース		最寄り駅	駅からの距離		
											商業地	業務地	居住地	公園・広場	遊歩道				
19	二天門防災船着場	●		隅田川		●					●	●	●	●	●	●	●	浅草駅	560m
20	浅草船着場	●		隅田川			●				●	●	●	●	●	●	●	浅草駅	800m
21	吾妻橋船着場	●		隅田川		●					●	●	●	●	●	●	●	浅草駅	400m
35	和泉橋防災船着場	●		神田川	●						●	●	●	●	●	●	●	秋葉原駅	280m
38	常盤橋防災船着場	●		日本橋川	●						●	●	●	●	●	●	●	三越前駅	80m
39	日本橋船着場	●		日本橋川		●					●	●	●	●	●	●	●	日本橋駅	80m
54	朝潮運河船着場		●	朝潮運河			●				●	●	●	●	●	●	●	勝どき駅	800m
56	豊洲三丁目乗船場		●	豊洲運河			●				●	●	●	●	●	●	●	豊洲駅	750m
57	豊洲船着場(ららぽーと)		●	東京港			●				●	●	●	●	●	●	●	豊洲駅	400m
58	豊洲ぐるり公園乗船場		●	東雲運河			●				●	●	●	●	●	●	●	豊洲駅	400m
63	五反田防災船着場	●		目黒川		●					●	●	●	●	●	●	●	五反田駅	450m
65	天王洲ピア栈橋		●	天王洲運河			●				●	●	●	●	●	●	●	天王洲アイル駅	400m
68	東品川清掃作業所船着場		●	京浜運河			●				●	●	●	●	●	●	●	天王洲アイル駅	80m
70	お台場海浜公園船着場		●	東京港	●			●			●	●	●	●	●	●	●	お台場海浜公園駅	800m
計		7	7	計	3	8	3	1	10	3	13	14	6	11	12				

また、荷揚げ場形式は、船舶を護岸に直接係留する形式となっており、荷物の積み下ろしには適している一方、干満差に応じて利用可能な時間帯が限定されることが考えられる。

### 3-2. キッチンボートの適地選定と船着場の特徴

Table 2 にキッチンボート事業の適地選定として抽出した船着場の概要、Figure 1 に船着場の抽出経緯事項を示す。栈橋の一時係留による飲食提供を行うキッチンボートは、係留の時間帯が限定されない浮栈橋形式が事業場所として適切であると考えられ、行政資料から抽出した船着場 99 ヶ所の内、浮栈橋形式の船着場 65 ヶ所を対象を絞り調査を実施した。その結果、キッチンボート事業の適地選定にあたり、集客性を鑑みた船着場の背後地域の商業地・業務地・居住地の立地や飲食可能な広場等のオープンスペースの存在が望ましいと考える。そのため、商業地・業務地・居住地の内、2 地域以上の立地が確認でき、且つ、背後地にオープンスペースを有する船着場を整理した結果、浮栈橋形式の船着場 65 ヶ所の内 14 ヶ所の該当を確認できた。

次いで、抽出した船着場の整備経緯や利用状況を整理すると、No.19, 20, 39, 54, 57, 70 の船着場は、観光船等の定期的な発着場として利用されている。No.21, 35, 38, 58, 65, 68 の船着場は、屋形船や観光船等の発着場として利用されている。No.63 の船着場は、2016 年度より舟運社会実験が実施されており、今後の観光舟運の実施展開に向けた航路検討がなされている。No.56 の船着場は、豊洲地区運河ルネサンス協議会の設立に合わせて整備された船着場であり、不定期開催のイベント時に船舶内にて飲食提供を行う「船カフェ」事業の係留場所として利用されている。キッチンボ-

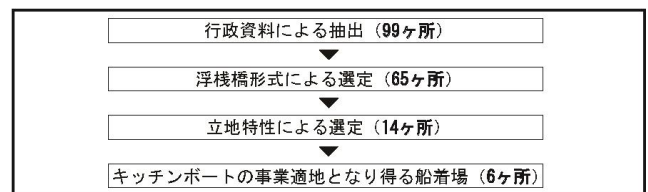


Figure 1. Extraction details of the dock

ト事業導入に向けた検討や地域内の合意形成、船着場利用に関する法的手続き等が比較的円滑になり得ると考えられる。

以上を踏まえ、キッチンボート事業の実施展開に際しては、現状の船着場利用がみられる舟運事業者との調整や合意形成の有無を考慮する必要がある。そのため、キッチンボート事業の実施場所としては、No.21, 56, 58, 63, 65, 68 の 6 ヶ所の船着場を適地として選定した。

### 4. おわりに

本稿では、東京都の都市河川・運河におけるキッチンボート事業導入に向けた適地選定を行った。その結果、船着場の立地条件や船着場の利用状況を踏まえ 14 ヶ所の船着場を事業候補地として選定した。今後は、抽出した船着場ごとの船舶係留および飲食提供に関わる諸要件の検討を行う。

### 5. 参考文献

[1] 東京都建設局河川部計画課：「防災船着場整備計画（改訂版）」、pp7-20, 2016.1  
 [2] 東京都港湾局：「東京港防災船着場整備計画」、pp7-18, 2016.3  
 [3] 東京都建設局：「隅田川等における新たな水辺整備のあり方」、pp2-45, 2014.2